

神話の地 熊野と 神剣「師靈剣」

日本人の 肚(魂)の 創り

「柱」にふさわしき現代の武人

日本では神を数える際、「一柱、二柱、三柱」と唱えるように、「柱」との言葉を用いている。大ヒット漫画『鬼滅の刃』でも、鬼殺隊の中で最高位とされる9人の剣士を「柱」と呼んでいるが、現代において最も「柱」と尊称したくなる武人の一人が、荒谷卓師範である。

自衛隊特殊作戦群初代群長、明治神宮武道場「至誠館」館長と、稀有

荒谷卓

長年にわたり空手、鹿島の太刀、合気道などを修め、荒谷流武道・荒谷卓師範。「戦うこと」、そして「守るべきもの」の本質を誰よりも真剣に考え抜いてきた現代の武人である荒谷師に、武の道探求の末にたどり着いた場所で、日本人の神性と日本武道の境地について尋ねてみた。

取材・文◎本誌編集部

Araya Takashi

荒谷 卓 昭和34年秋田県生まれ。東京理科大学卒業後、57年陸上自衛隊に入隊。陸上幕僚監部防衛部、防衛庁防衛政策局戦略研究室勤務の後、米国特殊作戦学校への留学を経て、帰国後に特殊作戦群初代群長となる。研究本部研究室長を最後に、平成20年退官。一等陸佐。21年明治神宮武道場「至誠館」館長に就任。30年国際共生創成協会「熊野飛鳥むすびの里」創設。農、武、学を通じて日本文化社会の国内外への普及活動に取り組んでいる。令和4年「日本自治集団」創設、代表に就任。著書に『戦う者たちへ』『サムライ精神を復活せよ!』(共に並木書房)『日本の戦闘者—現代のサムライは決してグローバリズムに屈せず』(ワニ・プラス)など。

な武の道を経て、現在は、初代天皇・神武天皇の建国を描いた「神武東征」の舞台の一つである神話の地・熊野にて、「熊野飛鳥むすびの里」を開き、「荒谷流武道」を伝える荒谷師。この度、同地を訪れ、「武道と神性」についてお話を伺つた。

武道と発心

簡単ではあるが、まずは荒谷師のこれまでの歩みについて紹介したい。小さな頃から相撲や柔道に親しんでいた荒谷師が本格的に武道に触れたのは、大学で松涛館流の空手道クラブに入ったのが契機であった。血

気盛んであった荒谷師はそれだけでは飽き足らず、当時住んでいた千葉県流山にある極真空手の道場にも入門。そこでは松井章圭現館長とともに加藤重夫師範代から薫陶をうけたという。大学では極左学生との一悶着などもあり、先を心配した教授から、明治神宮至誠館の島田和繁師範を紹介され、至誠館にも通い出した。

島田師範より「お前は軍人の顔をしている」と勧められることもあり、大学卒業後、自衛隊へ入隊。地方への赴任の際は一人稽古を重ね、銃剣道や徒手格闘術も学んだ。東京へ戻つてからは全自極真支部の代表を務め、そして再び、至誠館にて鹿島神流と合気道を学び修めていった。

自衛隊退官後は、請われて至誠館長に就任。10年間務めた後、「日本のために自ら為すべき武道の実践」のため、7年前に三重県熊野に移住し、現在に至る。

にぎにぎしさと猛々しさ

「私は日本をこよなく愛しております。そのために人生を費やしたい」との荒谷師の想い。安倍貞任の子孫で信心深かつた祖父の教えの影響などもあり、そのような発心は故郷・秋田での幼少時から胸に宿っていたのかもしれないと言ふ。

明治神宮の御祭神明治天皇の大御

心に啓発され自らの想いは腑に落ちて行き、國づくりに活躍した武神・武薙槌大神より連なる「祓太刀」を心身に修めるに連れ、荒谷師の武の神性(肚=魂)は、柱の如く確たるものへとなつていったのだろう。

「武道もその延長であつて、熊野での農武一体の生活は、神を非常にアリティを持って感じられる気がします」と荒谷師は語る。

荒谷師は自身の武道実践のための場所を30年前より探し続けてきたと

いう。関東一円から山梨、長野、静岡、福島と良い場所があると聞けば訪ねたものの、自然豊かなところは多々あれど、神を感じる場所にはなかなか巡り会えなかつた。だが熊野を訪れたところ、一発で神々しさを感じられ、すぐにこの地に誘われた。

「神武東征」より前の古代から、熊野は伊邪那美命の墓陵として祀ら

神武室師

1

師靈道場



2



3



①むすびの里の1万坪の敷地に建つ畠130畠の武道場。道場名は神武東征神話にちなんでいる。②神剣が祀られた神棚の前にて、荒谷師と荒谷流武道免許の古川広幸師。③神武天皇の言葉「八紘(あめのした)を掩(おおひて)宇(いえ)と為(せ)む」に由来する「八紘為宇」の書画。



道場外観



保食(うけもち)の館



夢見所



チャレンジコイン

①道場外観。②35畠の大部屋から和洋室の小部屋を備えた2階建ての宿泊場。③囲炉裏の座敷や櫻のカウンター等、約100名が同時に食事を摂れる厨房付き食堂。④保食の館には、荒谷師自衛隊時代の多くの勲章や、世界中の軍関係者から敬意を込めてプレゼントされたチャレンジコインなども多数飾られている。

さて、「スピリチュアル」と言うと特異なものと考える方もいるかもしれない。しかし荒谷師からすれば、神性とは「日本の伝統や本質の柱」であつて、日々の営みが「神とともに在るもの」なのだと。朝起きて神棚に拝礼し一日が始まるといったように、神の子孫として神を祀り、神とともに生活していく。

「武道もその延長であつて、熊野での農武一体の生活は、神を非常にアリティを持って感じられる気がします」と荒谷師は語る。

荒谷師は自身の武道実践のための場所を30年前より探し続けてきたと

いう。関東一円から山梨、長野、静岡、福島と良い場所があると聞けば訪ねたものの、自然豊かなところは多々あれど、神を感じる場所にはなかなか巡り会えなかつた。だが熊野を訪れたところ、一発で神々しさを感じられ、すぐにこの地に誘われた。

「神武東征」より前の古代から、



中国武術と内なる鍛錬 発勁の真髓

60分(予定) 5,500円(10%税込)

放鬆功、立禪、丹田功 etc. 張りと弾力による波のパワー

今回のDVDは、発勁のハウツー的な技術指導とは少し違います。発勁とは何なのか？という真相（深層）を武術と私が学んだ禪の両面から解き明かしていく、という試みです。ぜひ、頭ではなく体で感じとってもらえばと思います（練神会代表・江原章浩）。

予定収録内容

- 放鬆について
- 立禪について
- 丹田について
- 駆動・化動について
- 発勁について

指導監修○江原章浩 えはらあきひろ

武道、空手を経て、中川二三生辨筋の練神会に入門。中川辨筋より李書文孫堂源八極拳や各種太極拳等全伝を授かり、中川辨筋の孫の辨筋から立禪を学ぶ。中川辨筋逝去後は正統後継者として練神会を引き継ぐ。第2,3,4,6回東京国際武術祭、八極拳1位、第5,6回同大会・太極五層拳1位。

※購入方法：どじ込みの注文ハガキ、郵便振込用紙、現金書留、電話注文、下記のオンラインショップからの注文が便利です。全国の書店でもお買い求めできます。

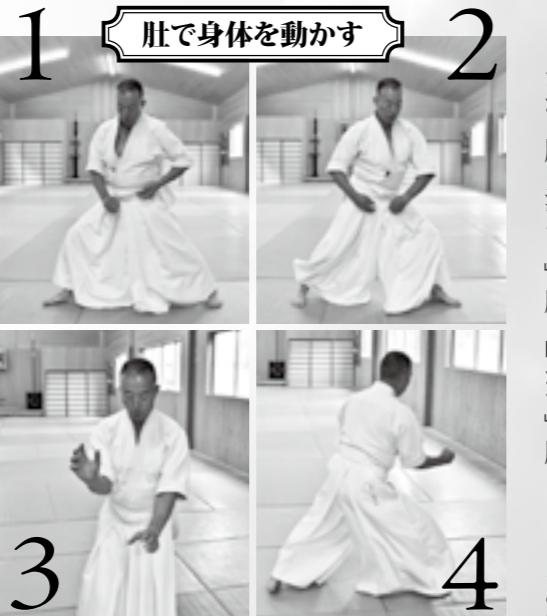
(株)BABジャパン
〒151-0073 東京都渋谷区渋谷1-30-11 4-5F
TEL:03-3469-0135 FAX:03-3469-0162 shop@bab.co.jp

全国どこでも送料無料（先払いの場合）
で配達します！スマホ・PC・タブレットからも注文可能です！

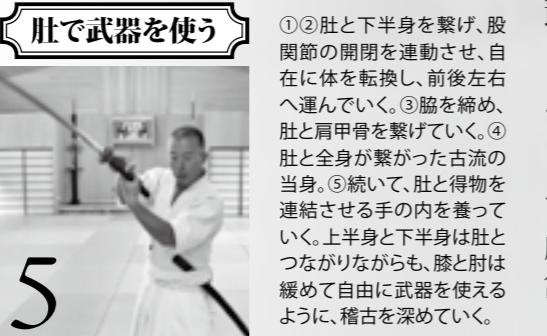
秘伝ウェブショップ 検索



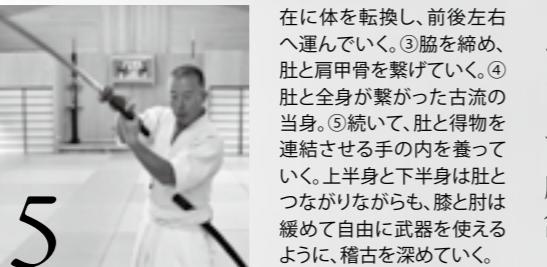
肚づくりの鍛錬



肚で身体を動かす



肚で武器を使う



5

征の折りに熊野山中で危機に陥った神武天皇に授けられ、その靈力により大いに神武東征を助けたとされる。木と畳の香りに包まれた道場正面、神棚の下には、この師靈劍に倣つて作られた剣が祀られている。では、この神剣が映す荒谷流武道

の稽古とはいがなるものなのか。

日本では「心身一如」という言葉

があるように、精神と身体をともに

練り上げていく。その基盤となるの

が、肚（魂）である。肚や丹田とい

うと動きの中心として捉えられがち

だが、「肚を決める」「肚を明かす」「肚

を割つて話す」など、実は日本人は精神の問題として使つてきたのだ。ではどうやつてその肚をつくつていくのかというと、勉強ではなく、武道の稽古で身体を鍛えることを通して、精神も養つていくこととなる。その段取りとしては、まず「肚（中

を割つて話す」など、実は日本人は精神の問題として使つてきたのだ。

山の木を200本自ら切り出し製

材し、3年後には畳130畳の「師

靈道場」を、さらにその1年後に

部下、至誠館時代の助手の2人とと

もに移り住んで後、むすびの里では

荒谷師は職名「おやじ」との下、裏

で身体を動かす」、そして「肚（魂）

で武器を使う」という流れとなる。

さて、むすびの里の道場名にも冠

される神剣「師靈剣」は、もとも

う語る荒谷師は現在、「農業

マやクラゲマガなど私が学んだ軍事

格闘術も加味したものですね」

7年前にご夫婦と、自衛隊時代の

里でも稻作を中心として、その裏と

して、生意氣ではありますが一流を

立ち上げ、武道を伝えてます、私が

教え得る鹿島の太刀や合氣道を主に、

やはり実戦の世界ですから、システ

マやクラゲマガなど私が学んだ軍事

格闘術も加味したものですね」

7年前にご夫婦と、自衛隊時代の

里でも稻作を中心として、その裏と

して、生意氣ではありますが一流を

心）づくりを行。続いて「肚（魂）で身体を動かす」、そして「肚（魂）で武器を使う」という流れとなる。「稽古が進むにつれ、『万事、肚だな』と実感であります。肚ができないければ自分の生きる意義は確信できません。思想だけでやついていても、生活がかかつたり、あるいは憚喝され命の危機に瀕すれば、それは簡単には捨てられてしまうでしょうが、肚（魂）ができればそれは生きる核心ですから、捨てられるものではないとわかります。だから武士は『肚を切る』ということになるのでしょうか？」この肚（魂）は、鹿島神流の極意である「宇宙創元の理」と合致している。古事記では、天ノ御中主神とともに、高御産巢日神と神産巢日神が三柱（造化三神）と相成り、中心ができる、高天原が成ったとされる。

Araya

れた地で、言わば黄泉の国、國津神たちの本拠地的性質を持つ土地である。普段は風光明媚なこの地の自然も、一度荒天となれば海は猛る。山は修驗道の聖地、レンジャー訓練などで山に長けた荒谷師でも懲くほど荒々しさを秘めている。

「古代より日本人は自然信仰と祖先崇拜を継承してきました。神武天皇が国をまとめる事業に着手される際に、それを断ち切らず、八紘為宇を詔されたことが、極めて重要だったと思います」

諸外国では戦火の度に文化の断絶が繰り返されてきた。対して日本の持つ歴史の継続性は稀有なものなのだ。然らば「日本を保全する、日本を取り戻す」といつた際に、その生

が活に根付いた信仰が基に無ければ日本たり得ないこととなる。

また日本人性としては、相手を

おもほか優しさなどに代表される、『に

ぎにぎしさ』も挙げられる。

「ところがそれだけでは国は保ちま

せん。近くにも遠くにもそうじやな

い性質の人がいるわけですから。で

はどうしたかと言うと、素戔嗚尊

や武甕槌大神などの猛々しい神が

天照大神を祀つてそれに従つたよう

に、『荒々しい人・猛々しい人がに

ぎにぎしさを敬う』という形をとり

ました。それにより、優しさを優し

くない人たちから守り得たのです

は学問のための図書館「士卒復覚塾」も建てた。農業においては現在、1・5町歩の田んぼ（約5000坪）

と、2反歩の畑（600坪）を手が

りでも稻作を中心として、その裏と

して、生意氣ではありますが一流を

立ち上げ、武道を伝えてます、私が

教え得る鹿島の太刀や合氣道を主に、

やはり実戦の世界ですから、シス

テマやクラゲマガなど私が学んだ軍事

格闘術も加味したものですね」

7年前にご夫婦と、自衛隊時代の

里でも稻作を中心として、その裏と

して、生意氣ではありますが一流を

立ち上げ、武道を伝えてます、私が

教え得る鹿島の太刀や合氣道を主に、

